

# 寄稿

## 第二の人生をエンジョイ中!

栃木県シルバー大学校北校第三十五期 上田 孝二

栃木県シルバー大学校は、高齢者の健やかで生きがいのある人生を支援し、活力ある地域社会を築くため、積極的に地域活動を実践する高齢者の方々を養成することを目的としています。



学校祭での一コマ

栃木県シルバー大学校は、老人福祉大学校時代も含め、今年で三十六年目になります。県下に中央校、南校、北校の三校があり、私達が勉強している北校は、矢板市にあります。現在、主に県北地域から、三十五期生と三十六期生を合わせ、約二百名の学生が在学し

ています。

●「こんなことをしています」

シルバー大学校では「地域社会活動やボランティア活動の担い手として、生きがいを持って活動できる高齢者を養成するための学習」を二年間行なっています。



●「あなたも仲間入りしませんか」

卒業後は、シルバー大学校で学んだ知識や経験を生かし、学生が住んでいる市や町を中心に、ボランティア活動や、子供たちとの交流など、地域活動を実践していくこととなります。

有意義に実践するため、学校自治会組織を作り、年間行事を設定し、学校祭や奉仕活動を通して、地域とのふれあい活動を行い、会誌・会報などの情報誌を作成しています。

また、学生間の親睦と交流を深めるため、卓球やウォーキング、グラウンド・ゴルフなどのスポーツ部関連や、大正琴、絵手紙、コカリナなどの文化部関連など、三十のクラブ活動が行われており、生き生きとした学生生活



施設でのボランティア活動

今、私たちは、学生生活を通して輝いています。矢板市にお住まいの皆さん、シルバー大学校に入學して、第二の人生をエンジョイしませんか。

# 岡目八目



矢板市立図書館長 嶋岡 洋文さん (53歳)  
(指定管理者(株)図書館流通センター)

百貨店に27年間務めた後転職し、日光市立今市図書館に2年勤務、平成26年4月に矢板市立図書館に異動となる。  
埼玉県東松山市に妻と3人の子どもがいる。単身赴任中。現在司書の資格をとるため大学の通信教育で勉強中。趣味はミュージカルを観ること、ルアーで溪流釣り。宮川や荒川の里川に1人で2~3時間フラッと行く。

### ●矢板市民の魅力は?

以前広報やいたの「比翼の束」で市長が書かれていた言葉を思い出しました。矢板市民は「引込み思案のようだが誠実で努力する粘り強い人間力がある」まさにその通りで、誠実で芯がしっかりしていると思います。都会に行けば行くほど遠慮せずに来ていただいた人主義のひとが多いように感じます。

### ●「赤ちゃんのじかん」とは

毎月第二水曜日の十時半~十二時に実施し、職員による読み聞かせもしています。赤ちゃん連れでも気兼ねなく子どもや自分の本を選んで欲しいですし、読み聞かせが目的というよりも、お母さんたちに遠慮せずに来ていただくための場です。

### ●矢板のお気に入りの場所

高原山がいいですね。ドライブして上り、気に入った場所から眺める景色は最高です。お店では道の駅。自炊をしているので、新鮮でおいしくて安い野菜は助かります。特にトマトにイチゴ、卵の「りんたま」はおすすめです。食へに行くのはレストランピアノ、煮物や小鉢がつくらんちがいいですね。日本酒が好きなので森戸酒造さんにも買いに行きます。

前回は十組の方々が集まりました。だんだんに親御さん同志が親しくなると、公園レビューならぬ図書館レビュー

「これからの矢板市立図書館について」地域コミュニティの一環として図書館をどうぞ利用して欲しいです。そのため

矢板では「赤ちゃんのじかん」を始めましたが「うるさい」などの苦情は一切なく、かえって協力的な言葉をかけてくれたりします。



赤ちゃんとママの読書の記録

●「これからの矢板市立図書館について」地域コミュニティの一環として図書館をどうぞ利用して欲しいです。そのため

から「趣味的」コーナーを盛り上げました。お心当たりありましたら、お寄せください。掲載可否は編集後記をご覧ください。

### 編集後記

今号から「趣味的」コーナーを盛り上げました。お心当たりありましたら、お寄せください。掲載可否は編集後記をご覧ください。